

統合についての意見交換

1班

①保護者としての視点

メリット

- 1 友達が増える、人とのつながり、関りが持てる
- 2 学校行事がやりやすい
- 3 統合することで子ども達の集団での学びが広がり深まる
- 4 競争心
- 5 集団が大きくなると心が弱い子の場所が見つけれられる
- 6 固定化しない人間関係ができる
- 7 今までは中学生や高校生にならないと関われない友達や保護者と早く知り合いになれる。
- 8 同年代の育ちに多くの刺激や考える力、共同性など少人数では獲得できないことができていく
- 9 関わる人数が増え、非認知能力向上に期待が持てる。

デメリット

- 1 通学時間の延長
- 2 子どもの体調不良時の迎えに時間がかかる。
- 3 急病などの対応
- 4 制服の種類が統一できるのか
- 5 P T A どうする

解決・アイデア

- 1 医療機関との連携
- 2 部活動の選択肢が広がる

②地域としての視点

メリット

- 1 廃校ではなく、新たな使い手ができるかも
- 2 自分の地域の子でなくても関りをもとことができる。

デメリット

- 1 地域との結びつきが弱くなる
- 2 閉所した跡地の問題
- 3 地域に子どもの声や姿が見えなくなり寂しさを感じるようになる
- 4 秋祭りや運動会がなくなる
- 5 地元を歩く子供がみられなくなる。
- 6 地域で行われている行事に参加しづらくなる。

解決・アイデア

- 1 地域に学校がなくなると地域に元気がなくなるので配慮を十分にする。
- 2 施設を有効活用する方策を事前に考えておく
- 3 保護者や地域の声を把握すること

③将来の養父市を見据えての視点

メリット

- 1 学校維持費が縮小し、財政にプラスとなる
- 2 市の予算の軽減
- 3 バス通学が増えるなら、雇用の創出に寄与するかも
- 4 養父市の教育の利点を集中して注げる場となる

デメリット

- 1 学校再編後、各行政区に1校残す？
- 2 閉園により私立園の受け入れ体制への市としての配慮を充実させる

解決・アイデア

- 1 廃校舎の利用を上手に行うことにより新たな活気生まれる
- 2 ついていけない子のフォロー、タブレットの利用で通えなくても授業ができる
- 3 養父市の特色をこの機会に十分アピールできるよう市全体で本気で考えることができる
- 4 統合を機会に関宮と大屋に小中一貫の学園を作り、地域の活性化を図る
- 5 閉校となった校舎を積極的に使用する。特産品の製造など
- 6 幼・小・中の一貫校育
- 7 複式になる前に統合させ、手間を多少でも現場にかけない
- 8 迎える側の体制を整える時間の確保を考え統合する
- 9 市内同時期に統合させず、時間差をつける
- 10 統合を通して地域の活性化になるカリキュラムの作成

2班

①保護者としての視点

メリット

- 1 人数が増えるので多様な教育活動が展開できる
- 2 複数学級となった場合、年度ごとに人間関係がリセットできる
- 3 学習集団の確保
- 4 委員会活動など児童会の組織がしっかり作れる
- 5 中学生ギャップが減る（統合した学校のみ）
- 6 1学年の人数が多くなり、コミュニケーションが学べる
- 7 小さすぎるコミュニティから高校・大学に進学した時に引っ込み思案にならない
- 8 部活廃止後、中心地（八鹿・養父）に活動の場を設ければ活動しやすい
- 9 役員等、保護者の負担が減る
- 10 現在教員が不足している状況が改善される

デメリット

- 1 新しい環境への不安
- 2 子どもはどう思うのか
- 3 建屋小の感情
- 4 伊佐小の感情
- 5 合併していない学校の児童が仲間づくりができたのか
- 6 通学方法は？
- 7 送迎についての負担
- 8 通学時間が長くなる
- 9 学校までの距離の差で不具合が生じないか？

解決・アイデア

- 1 制服をまず揃える
- 2 授業開始時間を遅らせる
- 3 全但バスの活用
- 4 他小学校との交流を増やす

②地域としての視点

メリット

- 1 子どもの見守り活動はしやすい

デメリット

- 1 地域の関係が希薄になる
- 2 歴史を地域住民が気になられる方がいらっしゃる

解決・アイデア

- 1 外部人材交流の活動
- 2 トライやるウィークで交流できないか

③将来の養父市を見据えての視点

メリット

- 1 修繕費でできるだけ無駄の無いようにできる
- 2 学校数が減るので施設維持費が抑制できる
- 3 養父市の将来の児童数を考えると早いうちに統合しなければ次の段階がすぐきてしまう
- 4 統合を成功させて他地域からの模範となるような養父市にしたい。

デメリット

- 1 跡地の利用方法は？
- 2 義務教育学校を解消しないといけない

3班

①保護者としての視点

メリット

- 1 交流の範囲が広がる
- 2 子ども達の選択肢が広がる
- 3 学校行事、PTAの再活性化
- 4 人数が多いことによる社会性の育成
- 5 大きなイベント活動が企画できる
- 6 従来の地域行事伝統にイノベーション
- 7 公立よりも私立の方が特色で選べる
- 8 児童生徒が一気に減るタイミングはもしかしたら良いタイミングなのかも
- 9 少人数で残すよりも少しでも多い人数で学びの確保

デメリット

- 1 少人数ならではの学びの環境
- 2 バス通学費の上昇
- 3 こども園少人数で社会性育まれるのか
- 4 小人数でも良いという意見をどうするのか。
- 5 統合したら先生はどうなるのか
- 6 先生の配置減が心配
- 7 こども園の閉園は小中の統合よりインパクトがある印象
- 8 老朽化
- 9 統合が思っていたより早い
- 10 準備等スケジュール的に間に合うのか
- 11 3年では早いと思う。6年くらいかかるのでは？

解決・アイデア

- 1 残してほしいという気持ちの根幹を問いかけてたい
- 2 統合しないメリットを考えるよりも統合するメリット考える
- 3 新生〇〇学校と別場所に建設しては
- 4 2段階でく、一気に統合しては
- 5 募集停止という手段

②地域としての視点

メリット

- 1 広谷、八鹿の地域行事の参加人数アップ
- 2 公共交通の利用が増える
- 3 地域の交通手段が残る

デメリット

- 1 地域の活躍の場が減る
- 2 こどもの声が聞こえない、どう考えている

- 3 こどもの声が聞こえないことに慣れるのが怖い
- 4 関宮等の統合した後の地域のやりがい
- 5 統合について地域住民との温度差
- 6 ボランティア団体の解散

解決・アイデア

- 1 やぶくるが使える
- 2 自治協単位での学校を考える機会
- 3 廃校舎の利活用の検討

③将来の養父市を見据えての視点

メリット

デメリット

- 1 学校の特色を残せる
- 2 廃校した後の校舎の行く末は？
- 3 交通手段はどうする

解決・アイデア

- 1 各学校地域の特色文化を学ぶカリキュラム
- 2 廃校利用は教育に関わる学校を生かした企業を入れる
- 3 DX、大人の学び、放課後の子どもの集う場
- 4 時間帯を埋める足の確保